

産 業 建 設 委 員 会

令和 2 年 5 月 25 日 (月)
全 員 協 議 会 室
10 時 00 分 ～ 時 分

【委 員】串崎委員長、飛野副委員長
川上委員、野藤委員、笹田委員、布施委員、道下委員

【委員外】

【議長団】

【執行部】

(産業経済部) 湯浅産業経済部長、佐々木産業経済部副部長(兼広島事務所長)、
大驛商工労働課長、山口産業振興課長、田中ふるさと寄附推進室長、
久佐農林振興課長、永見水産振興課長

(都市建設部) 鎌田都市建設部長、西谷建設企画課長、皆尾地籍調査課長、
倉本維持管理課長、邊建築住宅課長

(金 城 支 所) 篠原金城支所長

(旭 支 所) 塚田旭自治区長、佐々尾旭支所長、西川旭支所産業建設課長

(弥 栄 支 所) 外浦弥栄支所長、三浦弥栄支所産業建設課長

【事務局】近重書記

1. 執行部報告事項

- | | |
|--|------------------|
| (1) 地域おこし協力隊員について (報告) | 【商工労働課】 |
| (2) 株式会社エコーシステム浜田営業所の閉鎖について (報告) | 【商工労働課】 |
| (3) 令和元年度 萩・石見空港の状況について (報告) | 【商工労働課】 |
| (4) 令和元年度 はまだ産業振興機構活動実績について (報告) | 【産業振興課】 |
| (5) 令和元年度 浜田港の概況について (報告) | 【産業振興課】 |
| (6) 令和元年度 ふるさと寄附の実績について (報告) | 【ふるさと寄附推進室】 |
| (7) 令和元年度 広島事務所活動実績について (報告) | 【広島事務所】 |
| (8) 令和元年 浜田市農業産出額について (報告) | 【農林振興課】 |
| (9) 漁業別水揚げについて (報告) | 【水産振興課】 |
| (10) エンジェルハンドに係る補助金返還命令及び損害賠償請求について (報告) | 【旭支所産業建設課、商工労働課】 |
| (11) ふるさと体験村施設の指定管理者公募期間の変更について (報告) | 【弥栄支所産業建設課】 |
| (12) 浜田駅前広場整備事業の進捗状況について | 【建設企画課】 |
| (13) 浜田市雇用促進住宅の譲渡に関するアンケート集計結果について | 【建築住宅課】 |
| (14) その他 | |

2. その他

3. 産業建設委員会の今後の取組について

株式会社エコーシステム浜田営業所の閉鎖について（報告）

1 会社概要

- (1) 会社名 株式会社エコーシステム
- (2) 所在地 広島県広島市南区金屋町 3-13
- (3) 代表者名 代表取締役 宇郷 亮
- (4) 設立年月 平成元年 9 月
- (5) 資本金 25,000 千円
- (6) 売上高 約 11.5 億円（2019 年 9 月）
- (7) 従業員数 114 名（2019 年 10 月）
- (8) 事業内容 コンピュータソフトウェア開発等
- (9) 事業所 広島事業所、東京事業所
- (10) 営業所 福岡営業所、名古屋営業所、大阪営業所、福山営業所、岡山営業所、松山営業所、浜田営業所

2 経過等

- 平成 28 年 3 月 17 日 立地計画認定書交付及び覚書調印式
- 平成 28 年 4 月 1 日 浜田営業所 開設（浜田市相生町 4250 今井浜田ビル 3 階）
- 平成 28 年 9 月 1 日 浜田営業所 操業開始
- 令和元年 7 月 25 日 浜田市企業立地促進条例に基づく雇用促進奨励金 200 万円を交付（@50 万円×4 名）
- 令和元年 9 月 30 日 浜田営業所 一時退去
- 令和 2 年 3 月 23 日 島根県と本社を訪問 浜田営業所閉鎖の申出

最終的には、浜田営業所については、離職率も高く、管理できる人がいないこと。また、人材確保も進まず、浜田市での仕事も無く、再開の目途が立たないため、営業所の閉鎖を会社として決定。

令和元年度 萩・石見空港の状況について（報告）

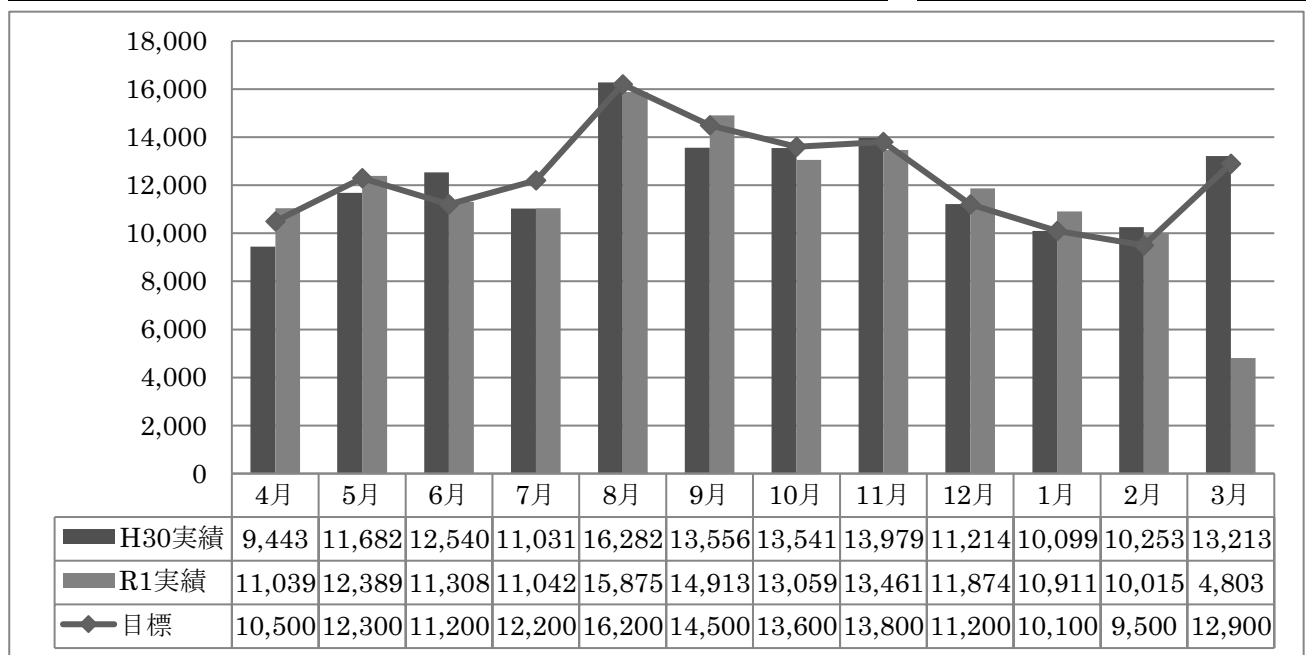
令和 2 年 5 月 25 日
産業建設委員会資料
産業経済部商工労働課

1 令和元年度の萩・石見空港の利用実績について

令和元年度の利用実績は 140,689 席で、過去最高となった前年度 146,833 席に対して 95.8%と下回りました。年間目標の 148,000 席に対しては、7,311 席不足する結果となりました。令和 2 年 2 月末までの利用実績は前年比を 2,266 人上回り、年間目標の達成及び前年度実績を上回るペースでしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により 3 月搭乗率が前年比 36.4%と大幅に減少したことが影響しました。

（単位：席）

	目標	R1 実績	目標値に対する差		H30 実績	前年比較	
第 1 四半期（4 月-6 月）	34,000	34,736	736	102.2%	33,665	1,071	103.2%
第 2 四半期（7 月-9 月）	42,900	41,830	▲1,070	97.5%	40,869	961	102.4%
第 3 四半期（10 月-12 月）	38,600	38,394	▲206	99.5%	38,734	▲340	99.1%
第 4 四半期（1 月-3 月）	32,500	25,729	▲6,771	79.2%	33,565	▲7,836	76.7%
合 計	148,000	140,689	▲7,311	95.1%	146,833	▲6,144	95.8%



2 令和元年度の浜田市萩・石見空港利用促進補助金の実績について

令和元年度の補助金実績は、9,265 席で前年比 98.0%となりました。運賃助成制度の PR や市内サポーター企業の利用促進などを行い利用の増加を見込みましたが、3 月の新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者の低迷したため減少しました。

区分	R1 申請		H30 申請		前年比	
	席数	金額(千円)	席数	金額(千円)	席数	金額
65 歳未満	2,742	5,484	3,171	6,342	86.5%	86.5%
65 歳以上	2,154	6,462	2,094	6,282	102.9%	102.9%
サポーター企業	4,369	13,107	4,187	12,561	104.3%	104.3%
合 計	9,265	25,053	9,452	25,185	98.0%	99.5%

3 第2回羽田発着枠政策コンテストについて

羽田発着枠政策コンテストについて、石見空港を含めた7空港から応募があり、令和2年3月4日に各提案者からのヒアリングが行われました。3月中旬にはコンテスト選定路線を決定する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対応により発表が遅れておりました。5月14日付けで国土交通省から発表があり、萩・石見空港東京線の2便化継続が決定しました。

【提案提出者】三沢空港、大館能代空港、山形空港、鳥取空港、石見空港、佐賀空港、下地島空港（計7空港） ※2重下線は決定、下線はトライアル運行
【増便期間】令和2年10月25日～令和5年3月25日

4 新型コロナウイルスの影響に伴う一時減便について

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、萩・石見空港－東京（羽田）路線の運休が運航事業者により発表されました。（4月28日時点）

便名	発着時刻	運休日
ANA725	東京 8:40 → 萩・石見 10:15	4/20・22・24・27・30・5/2～5・7・9・12・14・16・19・21・23・26・28・30 計20日間
ANA726	萩・石見 10:55 → 東京 12:25	
ANA727	東京 15:55 → 萩・石見 17:30	4/9～5/31 計53日間
ANA728	萩・石見 18:15 → 東京 19:45	

5 令和2年度の取り組みについて

令和2年度搭乗目標：148,500席（R1年度目標：148,000席）

(1) 島根県の主な取り組み

予算（萩・石見空港関連）：313,833千円（R1対比 585千円減）

・萩・石見空港利用拡大促進協議会への補助金：180,000千円（R1対比 増減なし）

(2) 萩・石見空港利用拡大促進協議会の主な取り組み

予算：287,649千円（R1対比 2,071千円増）

・周知・PR等については、新型コロナウイルスが終息するまでの当面の間は控える

(3) 浜田市の取り組み

予算（萩・石見空港関連）：34,548千円（R1対比 1,082千円増）

①萩・石見空港利用拡大促進協議会負担金：6,930千円（R1対比 増減なし）

②萩・石見空港利用促進補助事業の継続：27,618千円（R1対比 1,082千円増）

・補助額：65歳未満/3,000円、65歳以上/5,000円、サポーター企業/5,000円

（R1補助額：65歳未満/4,000円、65歳以上/6,000円、サポーター企業/6,000円）

・補助金申請の延長窓口及び休日窓口開設

③周知・PR等

・新型コロナウイルスが終息するまでの当面の間は積極的な周知・PR等を控える

④萩・石見空港を活用した修学旅行の実施について

令和元年度は、第三中学校、旭中学校、弥栄中学校の3校が萩・石見空港を活用され、令和2年度については3校に加え、新たに2校が修学旅行において萩・石見空港を活用される予定ですが、状況を踏まえて協議していくこととしております。

令和元年度 はまだ産業振興機構 活動実績について（報告）

1.全体実績

	H 30	R 1	増減
対応企業数	133 社	160 社	27 社
対応回数(延べ)	481 回	610 回	129 回
マッチング支援件数	349 件	390 件	41 件
成約件数	58 件	77 件	19 件
内新規	13 件	38 件	25 件
金額	102,630千円	114,958千円	12,328千円
内新規	11,529千円	25,692千円	-

※催事など一回の取引も含む

※金額は参考として事業者の聞き取り報告による

2.分野別一覧

2-1 小売業(スーパー・百貨店)

	H 30		R 1		増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
関東	9件	34,708千円	23件	35,032千円	14件	324千円
関西	5件	30,916千円	8件	34,691千円	3件	3,775千円
その他	17件	8,523千円	6件	2,340千円	▲ 11件	▲ 6,183千円
合計	31件	74,147千円	37件	72,063千円	6件	▲ 2,084千円
内新規	5件	1,359千円	8件	2,331千円	3件	972千円

内訳 【H30】 水産 40,949千円 農産 16,755千円 畜産 0千円 その他 16,443千円
【R1】 水産 33,969千円 農産 20,968千円 畜産 128千円 その他 16,998千円

2-2 飲食業(ホテル・飲食店)

	H 30		R 1		増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
関東	15件	20,813千円	12件	22,702千円	▲ 3件	1,889千円
関西	4件	5,040千円	10件	7,514千円	6件	2,474千円
その他	0件	0千円	1件	300千円	1件	300千円
合計	19件	25,853千円	23件	30,516千円	4件	4,663千円
内新規	7件	10,162千円	14件	11,038千円	7件	876千円

内訳 【H30】 水産 19,009千円 農産 262千円 畜産 491千円 その他 6,089千円
【R1】 水産 22,508千円 農産 161千円 畜産 1,099千円 その他 6,747千円

2-3 卸売業・その他

	H 30		R 1		増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
関東	7件	2,621千円	10件	12,179千円	3件	9,558千円
関西	0件	0千円	7件	197千円	7件	197千円
その他	1件	7千円	0件	0千円	▲ 1件	▲ 7千円
合計	8件	2,628千円	34件	24,752千円	26件	22,124千円
内新規	1件	7千円	16件	12,323千円	15件	12,316千円

内訳 【H30】 水産 2,398千円 農産 0千円 畜産 0千円 その他 230千円
【R1】 水産 12,000千円 農産 53千円 畜産 0千円 その他 323千円

令和元年度 浜田港の概況について(報告)

1 令和元年 浜田税関支署管内貿易概況について

令和元年(平成31年1月～令和元年12月)の浜田税関支署管内(浜田港・三隅港)の貿易総額は429億5,400万円(前年比103.7%)で、平成30年の実績を15億4,300万円上回った。

輸出入別では、輸出が31億5,200万円(同127.0%)で6億7,000万円の増加、輸入が398億200万円(同102.2%)で8億7,300万円の増加。輸出入の差引額は366億5,000万円の輸入超過であった。

輸出は、パルプ及び古紙、その他の化学製品などが増加。輸入は石炭などが増加したものの木材、無機化合物などが減少した。

【貿易額内訳】

(単位:百万円)

	令和元年		平成30年	
		前年比		前年比
輸 出	3,152	127.0%	2,482	88.8%
輸 入	39,802	102.2%	38,929	97.3%
総 額	42,954	103.7%	41,411	96.7%

【輸 出】

〔上位5品目〕

順位	品目	価格 (百万円)	前年比	構成比
1	パルプ及び古紙	1,794	124.8%	56.9%
2	金属製品	227	136.4%	7.2%
3	木材	175	110.1%	5.6%
4	人造繊維	118	78.2%	3.8%
5	魚介類	107	4.3倍	3.4%

〔上位5カ国〕

順位	国名	主な品目	価格 (百万円)	前年比	構成比
1	台湾	パルプ及び古紙	1,513	107.1%	48.0%
2	中国	パルプ及び古紙、木材、化学製品	680	2.4倍	21.6%
3	韓国	金属製品、粗鉱物、木材	612	131.8%	19.4%
4	ベトナム	ゴム加工材料、魚介類、木材	272	2.3倍	8.6%
5	アメリカ	非金属鉱物製品、粗鉱物	25	2.6倍	0.8%

【輸 入】

〔上位5品目〕

順位	品目	価格 (百万円)	前年比	構成比
1	石炭	30,458	103.5%	76.5%
2	無機化合物	3,164	81.5%	7.9%
3	プラスチック	941	101.2%	2.4%
4	重電機器	601	全増	1.5%
5	木材	573	43.4倍	1.4%

〔上位5カ国〕

順位	国名	主な品目	価格 (百万円)	前年比	構成比
1	オーストラリア	石炭	12,689	91.8%	31.9%
2	インドネシア	石炭、植物性原材料	12,230	109.0%	30.7%
3	中国	無機化合物、重電機器、粗鉱物	3,324	81.6%	8.4%
4	ロシア	石炭、鉄鋼、無機化合物	2,449	74.9%	6.2%
5	南アフリカ	石炭	1,869	183.2%	4.7%

浜田税関支署管内貿易概況より作成。

2 令和元年度 浜田港国際定期コンテナ航路取扱貨物量の実績について

令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）の国際コンテナ航路取扱貨物量実績（実入）は、3年連続過去最高となる4,113TEU（前年度比108.8%、366TEU増）であった。

輸出は、パルプ、木材（製材）及び冷凍魚の輸出が増加し、1,798TEU（前年度比106.7%、119TEU増加）であった。輸入は、ポリエチレン、一般機械・金属製品、稲わら・牧草の輸入増加により、2,196TEU（前年度比111%、217TEU増加）となった。

【コンテナ取扱量（実入）】

年度	輸出	輸入	合計	前年度比	寄港回数	1寄港平均
令和元年度	1,917TEU	2,196TEU	4,113TEU	108.8%	93回	44.2TEU
平成30年度	1,798TEU	1,979TEU	3,777TEU	104.8%	58回	65.1TEU
平成29年度	1,755TEU	1,849TEU	3,604TEU	123.5%	47回	76.7TEU

※1TEU（Twenty-foot Equivalent Units）は20フィートコンテナ1本分

【コンテナ利用上位5品目】

輸出

順位	品目	令和元年度	平成30年度	比較	貿易国（令和元年度）
1	パルプ及び古紙	1,003	932	71 107.6%	台湾、中国
2	木材	410	396	14 103.5%	中国、韓国、ベトナム
3	人造繊維	86	74	12 116.2%	中国、インド、韓国
4	粗鉱物	77	136	△ 59 56.6%	韓国、中国、米国、台湾
5	金属製品	76	65	11 116.9%	韓国

輸入

順位	品目	令和元年度	平成30年度	比較	貿易国（令和元年度）
1	ポリエチレン	505	479	26 105.4%	タイ、マレーシア、韓国、米国、シンガポール、ベトナム
2	無機化合物	404	516	△ 112 78.3%	中国、韓国、ベトナム、ロシア
3	化学製品	192	179	13 107.3%	中国、マレーシア、インド、ベトナム
4	金属製品	171	94	77 181.9%	中国
5	一般機械	162	77	85 210.4%	中国、韓国、タイ

3 クルーズ客船の寄港について

令和元年度のクルーズ客船の浜田港寄港は、2回あり、歓迎セレモニー、おもてなしイベント、近隣観光ツアー等の寄港対応を行った。

令和2年度のクルーズ客船の浜田港寄港は、3回を予定している。



年 度	日 時		船 名	総トン数	乗客数	前 港	次 港
元年度	7/7（日）9:30～18:40		コスタ・ネオロマンチカ	57, 150t	約 1, 500 人	金沢	プサン
	8/4（日）10:00～18:50		コスタ・ネオロマンチカ	57, 150t	約 1, 400 人	金沢	プサン
2 年 度	※1	7/30(木)10:00～19:00	コスタ・ネオロマンチカ	57, 150t	1, 800 人	金沢	プサン
		8/11(火)10:00～19:00	コスタ・ネオロマンチカ	57, 150t	1, 800 人	金沢	プサン
		8/25(火)10:00～19:00	コスタ・ネオロマンチカ	57, 150t	1, 800 人	金沢	プサン
	中止	9/6（日）7:00～10:00	クルスタル・エンデバー	25, 000t	200 人	ポハン	仙崎

※1：コスタ・ネオロマンチカは、6月7日までの日本発着 運行中止。（5月2日現在）

令和元年度 ふるさと寄附の実績について（報告）

1 令和元年度概況

令和元年6月から、国の新たな「ふるさと納税指定制度」が開始され、当市も令和元年6月1日から令和2年9月30日までの指定を受けました。

また、令和元年10月には、消費税増税に併せた返礼品のリニューアルや寄附の募集に係る経費の見直し等を実施しました。

寄附受付状況について前年度と比較すると、「ふるさと納税指定制度」前の駆け込み需要や、消費税増税前の駆け込みにより、9月までは前年度を上回っていましたが、10月からは消費税増税に併せた返礼品のリニューアルや、返礼品の代表であるノドグロの不漁などがあり、結果として対前年比で94.6%となりました。

2 令和元年度寄附実績 件数5万7千8百件 金額13億3,900万円

令和2年3月31日現在

	年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
金額 (千円)	令和元	53,722	85,382	73,955	63,530	66,439	113,572	94,910	177,178	482,558	38,191	33,925	55,865	1,339,227
	対前年比	103.4%	153.8%	101.6%	118.4%	121.4%	136.3%	64.4%	83.1%	91.5%	80.0%	69.8%	94.6%	94.6%
	30	51,934	55,525	72,785	53,658	54,714	83,315	147,303	213,115	527,318	47,755	48,591	59,085	1,415,098
	29	81,525	96,830	64,746	61,071	56,587	105,100	232,933	146,072	405,799	36,167	31,885	43,486	1,362,202
	28	72,375	66,643	66,375	76,542	73,350	110,675	160,338	251,030	581,424	48,397	57,310	90,905	1,655,364
件数 (件)	令和元	2,874	4,800	3,769	3,425	3,487	5,781	4,057	7,373	17,207	1,314	1,423	2,327	57,837
	対前年比	122.3%	176.5%	124.9%	110.7%	122.8%	135.5%	56.6%	73.6%	68.5%	62.8%	54.9%	76.6%	84.7%
	30	2,350	2,719	3,018	3,095	2,839	4,266	7,174	10,015	25,113	2,093	2,592	3,038	68,312
	29	3,912	4,820	3,452	3,207	2,961	4,938	9,393	6,783	16,343	1,528	1,519	2,020	60,876
	28	3,704	3,155	3,646	3,695	3,723	5,546	7,812	11,576	23,234	2,285	2,800	4,724	75,900
使 途	第1号 石見神楽等の伝統芸能の継承						246,255	18.4%	第4号 青少年の健全育成				269,605	20.1%
	第2号 自然環境並びに歴史的・文化的資源の保全・活用						277,035	20.7%	第5号 その他市長が必要と認める				368,613	27.5%
	第3号 高齢者福祉及び地域医療の充実						177,719	13.3%	合 計				1,339,227	100.0%

3 令和元年度の主な取組み

(1) 特集企画及び特産品の充実

浜田開府400年記念特産品特集、おすすめ特産品特集、浜田港旬のお魚特集、鍋特集及び関東・関西のお食事プランなど、季節に応じた特集を企画し、ふるさとチョイス等ポータルサイトでPRに努めました。

また、特産品の募集を随時行い、浜田の魅力をお伝えする返礼品の充実に努めました。



(2) PRイベントへの参加

ふるさとチョイスを運営する㈱トラストバンク主催のイベント等に参加し、直接寄附者との交流を図るとともに、浜田市のPRを行いました。

■ふるさとチョイスcaféイベント

期間：9月21日（土）～22日（日）午前・午後1回ずつ開催

場所：東京都千代田区有楽町1丁目12-1

浜田市PR（特産品、観光、日本遺産認定「石見神楽」）

- ・ふるさと納税の取組み紹介
- ・石見神楽のお面の絵付けワークショップ等
- ・浜田市の特産品生産者によるお品の紹介
- ・試食 { のどぐろ一夜干し、お米の食べ比べ、ウチワエビのみそ汁、赤てん、珈琲、浜田産フルーツのシュークリーム など。 }



■ふるさと納税大感謝祭in横浜

期 間：11月16日（土）～17日（日）

会 場：パシフィコ横浜（横浜市西区）

来場者：16日5,830人 17日5,770人

ステージイベントを実施しました

- ・11/16 石見神楽面の絵付け体験ワークショップ
- ・11/17 自治体PRタイム(のどぐろフィレの焼き物試食)



(3) ふるさとチョイスアワードへの参加と受賞

ふるさと納税による自治体の取り組みを表彰するトラストバンク主催の「ふるさとチョイスアワード2019」において、当市の応募した「石見神楽の伝統を私たち障がい者も次世代へつなごう」が『優秀賞』を受賞しました。

開催日：令和元年11月30日(土)

会 場：東京 ベルサール汐留



(4) リピーター対策

■月2回メールマガジンを配信

■ダイレクトメールの送付

※11/7（東京・神奈川・横浜在住の寄附者約1,800通）

特産品の各種特集、イベント案内等特産品パンフレットと申込書等一式を同封し送付しました。

※2/20（平成30年度に、当市にご寄附いただいた方の中から約1,400名を抽出）

春を感じる特産品チラシと平成30年度の寄附活用報告を同封し送付しました。

■年賀状の送付（約1,500通）

令和元年中の寄附者の中で、関東方面の複数回寄附者および高額寄附者と、「ふるさと納税大感謝祭in横浜」での来場寄附者へ送付しました。

(5) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業者支援

■寄附受付ポータルサイトにて募集のあった、「新型コロナウイルス被害事業者向け支援プロジェクト」に応募し、特集ページに掲載されました。

（※応募の際に事業者へ聞き取り調査を実施しました。）

【ふるさとチョイス】

第一弾▶学校給食への納品が取り止めとなった事業者支援：8事業者、15品

第二弾▶外食産業関連事業者支援：5事業者、8品

【楽天ふるさと納税】

新型コロナウイルスによって深刻な状況になっている事業者支援：2事業者、3品

令和元年度 広島事務所活動実績について(報告)

【販路開拓】

※訪問企業数は、浜田市外企業の集計

	H28	H29	H30	R1	増減(H30比)
訪問企業数	73 社	65 社	85 社	59 社	▲ 26 社
訪問回数(延べ)	174 件	170 件	196 件	207 件	11 件
成立件数	76 件	94 件	92 件	106 件	14 件
(内新規)	37	44 件	33 件	56 件	23 件
金額	71,011 千円	91,344 千円	93,743 千円	134,048 千円	40,305 千円
(内新規)	15,589 千円	17,229 千円	18,829 千円	21,983 千円	3,154 千円

【内 訳】 H28…水産 68,745千円、農産 478千円、畜産 624千円、その他 1,164千円
H29…水産 87,269千円、農産 1,940千円、畜産 752千円、その他 1,383千円
H30…水産 87,988千円、農産 3,366千円、畜産 830千円、その他 1,559千円
R1 …水産 101,805千円、農産 9,215千円、畜産 334千円、その他 22,694千円

【企業誘致】

	H28	H29	H30	R1	増減(H30比)
訪問企業数	62社	33社	42社	22社	▲ 20 社
訪問回数(延べ)	105件	88件	69件	71件	2 件
成立企業数	1社	0社	0社	1社	1 社

【成 立 企 業】建設コンサルタント業 1社

【ポートセールス】

	H28	H29	H30	R1	増減(H30比)
訪問企業数	102社	29社	30社	54社	24 社
訪問回数(延べ)	135件	69件	51件	85件	34 件
成立企業数 (契約含む)	5社	4社	2社	5社	3 社

【成 立 企 業】定期コンテナ航路 5社

【観光誘客】

	H28	H29	H30	R1	増減(H30比)
誘客数(延べ)	-	3,064人	3,152人	2,627人	▲ 525人
施設利用数(延べ)	13,075人	10,963人	10,110人	9,331人	▲ 779人
宿泊数(延べ)	-	2,062泊	1,851泊	1,347泊	▲ 504泊

令和元年 浜田市農業産出額について(報告)

令和2年 5月25日
産業建設委員会 資料
産業経済部農林振興課

浜田市産地強化協議会 調べ

(単位:千円)

	平成20年 (参考値)		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年(平成31年)		
		構成比							前年比	対前年
水稻	1,403,578	41.9%	1,166,415	1,201,039	1,216,156	1,287,617	1,240,669	1,163,076	93.7%	▲77,593
豚	965,753	28.8%	1,183,534	1,249,557	1,173,592	1,160,848	1,061,031	1,149,286	108.3%	88,255
有機野菜	170,413	5.1%	438,131	451,486	459,365	454,571	468,460	462,890	98.8%	▲5,570
生乳		0.0%						196,702	-	196,702
牛	147,672	4.4%	122,626	151,237	133,332	128,716	150,200	183,470	122.2%	33,270
トマト	1,884	0.1%	795	1,025	458	282	14,762	81,616	552.9%	66,854
西条柿	47,924	1.4%	57,402	54,930	59,682	76,020	79,910	74,599	93.4%	▲5,311
赤梨	132,401	3.9%	96,000	99,308	75,429	88,532	69,836	70,427	100.8%	591
観光農園	8,974	0.3%	44,130	32,674	29,612	24,379	35,170	42,937	122.1%	7,767
花卉	128,993	3.8%	57,137	62,961	55,027	47,130	43,100	42,769	99.2%	▲331
しいたけ類	97,805	2.9%	52,697	55,220	51,615	48,651	42,715	40,596	95.0%	▲2,119
お茶	32,554	1.0%	30,000	30,000	30,000	30,000	41,609	40,420	97.1%	▲1,189
蜂蜜	0	0.0%	20,826	21,000	27,000	27,000	26,000	26,000	100.0%	0
ぶどう類	14,434	0.4%	21,460	29,337	21,723	26,480	25,807	23,711	91.9%	▲2,096
サツマイモ	0	0.0%	6,920	7,785	8,040	5,380	15,097	13,047	86.4%	▲2,050
キャベツ	14,020	0.4%	8,724	10,132	9,821	7,663	10,843	7,234	66.7%	▲3,609
なす	7,985	0.2%	9,738	8,783	10,348	8,952	9,621	7,128	74.1%	▲2,493
いちじく	1,524	0.0%	4,827	4,837	3,866	3,595	3,681	3,930	106.8%	249
豆類	11,276	0.3%	5,233	1,191	2,300	2,297	3,934	2,975	75.6%	▲959
あすっこ	4,053	0.1%	5,423	4,635	3,036	3,924	2,361	2,103	89.1%	▲258
ほうれん草	1,958	0.1%	4,486	3,276	2,033	1,774	1,013	1,021	100.8%	8
インゲン	4,344	0.1%	1,634	1,327	1,166	974	890	664	74.6%	▲226
イチゴ	2,303	0.1%	602	660	560	530	567	513	90.5%	▲54
その他	47,207	1.4%	73	90	91	0	0	0	-	0
農産物加工品	822	0.0%	10,552	14,537	13,000	16,182	14,789	13,170	89.1%	▲1,619
産直市場	105,065	3.1%	259,816	269,960	267,827	249,571	247,431	250,072	101.1%	2,641
合 計	3,352,942	100%	3,609,181	3,766,987	3,655,079	3,701,068	3,609,496	3,900,356	108%	290,860

※ 農業産出額の積算については、1月～12月の暦年を基本としています。

※ 「その他」は、近年生産のない葉タバコ及びメロンの産出額です。

漁業別水揚げについて（報告）

〈令和2年4月〉

令和2年5月25日
産業建設委員会資料No.1
産業経済部水産振興課

◆全体状況◆ 水揚量：1,232トン（前年比：78%、－355トン） 水揚金額：3億3,828万円（前年比：76%、－1億899万円）

【地元沖合底曳網漁業】 水揚量：314トン（前年比78%）
水揚金額：1億4,734万円（前年比80%）

☆メンポウ

〈H31.4〉 11トン・単価403円/kg ⇒ 〈R2.4〉 31トン・単価596円/kg

☆スルメイカ

〈H31.4〉 23トン・単価458円/kg ⇒ 〈R2.4〉 37トン・単価591円/kg

☆ノドグロ（メッキン除く）

〈H31.4〉 3.6トン・単価4,236円/kg ⇒ 〈R2.4〉 1.3トン・単価3,711円/kg

◆昨年同月より、メンポウ・スルメイカの水揚げが増加したが、ノドグロは減少した。
全体の水揚量・金額ともに減少したものの、1ヶ統あたりではそれぞれ昨年並みで

【地元中型まき網漁業】 水揚量：62トン（前年比17%）
水揚金額：2,606万円（前年比36%）

☆マアジ

〈H31.4〉 266トン・単価209円/kg ⇒ 〈R2.4〉 48トン・単価484円/kg

☆サバ

〈H31.4〉 72トン・単価125円/kg ⇒ 〈R2.4〉 9トン・単価139円/kg

☆サワラ

〈H31.4〉 16トン・単価338円/kg ⇒ 〈R2.4〉 0.09トン・単価387円/kg

◆昨年同月よりマアジ・サバ・サワラの水揚げが減少し、全体水揚量・金額ともに減少した。

【大中型まき網漁業】 水揚量：792トン（前年比148%）
水揚金額：1億2,432万円（前年比160%）

☆サバ

〈H31.4〉 83トン・単価100円/kg ⇒ 〈R2.4〉 228トン・単価87円/kg

☆カマス

〈H31.4〉 0.5トン・単価523円/kg ⇒ 〈R2.4〉 22トン・単価455円/kg

☆マアジ

〈H31.4〉 395トン・単価139円/kg ⇒ 〈R2.4〉 297トン・単価212円/kg

◆昨年同月よりサバ・カマスの水揚げが増加し、全体水揚量・金額ともに増加した。

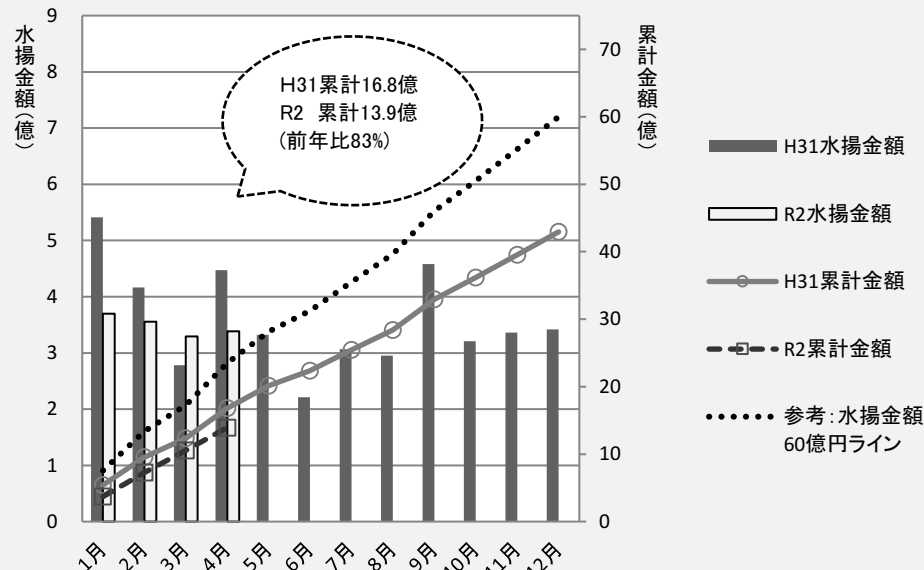
【小型いか釣漁業（5トン以上）】 水揚量：2トン（前年比12,056%）
水揚金額：1,483万円（前年比10,562%）

☆スルメイカ

〈H31.4〉 0.018トン・単価780円/kg ⇒ 〈R2.4〉 2トン・単価676円/kg

◆昨年同月よりスルメイカの水揚げが増加し、全体の水揚量・金額はともに増加した。

H31・R2 水揚金額



平成31年 令和2年 漁業別水揚げ比較表

4月

1月～4月累計

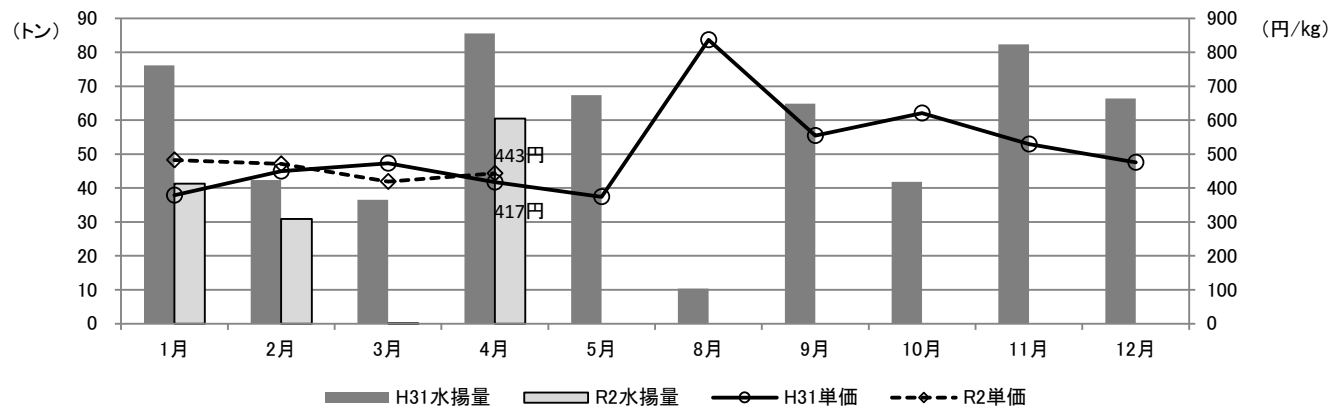
令和2年5月25日
産業建設委員会資料No.2
産業経済部水産振興課

漁業種類	年	数量(kg)	比率(%)	金額(税抜)	比率(%)	金額(税込)	数量(kg)	比率(%)	金額(税抜)	比率(%)	金額(税込)
01 沖合底曳網(地元船)	31	402,035.7	78.2	171,059,541	79.8	184,744,347	1,360,149.0	82.5	592,458,381	86.2	639,855,243
	2	314,219.5		136,430,299		147,344,771	1,121,732.2		510,634,199		551,485,101
02 沖合底曳網(地元外)	31	54,820.4	0.0	22,071,965	0.0	23,837,735	118,774.3	-	49,637,825	-	53,608,875
	2	0.0		0		0	0.0		0		0
03 小型底曳網	31	0.0	-	0	-	0	0.0	-	0	-	0
	2	0.0		0		0	0.0		0		0
04 大中型旋網	31	535,525.0	147.9	71,787,464	160.3	77,530,463	2,446,605.3	83.7	446,913,517	113.7	482,666,599
	2	791,972.5		115,109,597		124,318,369	2,046,815.5		508,155,219		548,807,636
05 中型旋網(地元船)	31	363,257.5	17.2	66,802,354	36.1	72,146,545	1,418,732.2	27.4	207,494,115	41.8	224,093,646
	2	62,446.3		24,132,770		26,063,392	388,702.9		86,808,635		93,753,328
06 中型旋網(地元外)	31	177,347.0	0.0	28,935,827	0.0	31,250,693	382,747.0	-	55,124,729	-	59,534,708
	2	0.0		0		0	0.0		0		0
07 小型いか釣(5t以上)	31	18.0	12,055.6	13,000	10,561.8	14,040	26,663.2	9.3	18,546,760	10.3	20,030,501
	2	2,170.0		1,373,030		1,482,873	2,485.0		1,916,670		2,070,005
08 いか釣(5t未満)	31	534.0	174.5	348,120	115.4	375,970	942.0	104.5	758,880	59.8	819,591
	2	932.0		401,600		433,728	984.0		453,700		489,996
09 大型定置網	31	8,038.0	90.9	2,823,288	65.3	3,049,155	29,133.7	54.8	7,935,978	87.1	8,570,861
	2	7,303.4		1,842,932		1,990,366	15,969.8		6,916,072		7,469,375
10 小型定置網	31	0.0	-	0	-	0	0.0	-	0	-	0
	2	0.0		0		0	0.0		0		0
11 しら網	31	0.0	-	0	-	0	0.0	-	0	-	0
	2	0.0		0		0	0.0		0		0
12 一本釣(浜田)	31	2,127.5	649.1	3,277,565	159.6	3,539,778	6,360.8	491.6	10,668,312	191.7	11,521,775
	2	13,809.8		5,229,893		5,648,280	31,271.7		20,450,177		22,086,177
13 一本釣(国府)	31	438.0	35.2	817,558	22.9	882,959	1,415.6	94.1	3,020,672	55.7	3,262,319
	2	154.2		186,893		201,835	1,332.4		1,681,541		1,816,057
14 一本釣(長浜)	31	4,768.0	86.0	3,904,531	44.4	4,216,896	6,982.3	217.1	6,940,834	98.4	7,496,107
	2	4,099.5		1,735,023		1,873,828	15,161.9		6,832,261		7,378,853
15 一本釣(津摩)	31	6,314.9	34.6	2,065,607	38.4	2,230,852	8,524.5	75.1	5,131,495	61.7	5,542,014
	2	2,187.9		792,891		856,323	6,402.5		3,166,186		3,419,482
16 一本釣(三隅)	31	11,633.6	44.2	3,984,990	23.3	4,303,774	20,657.3	73.2	8,545,063	62.7	9,228,662
	2	5,136.6		928,000		1,002,243	15,126.0		5,356,680		5,785,215
17 一本釣(江津)	31	1,989.0	49.6	1,614,195	34.6	1,743,333	7,297.1	187.8	5,544,465	135.2	5,988,035
	2	987.1		558,870		603,579	13,702.6		7,494,335		8,093,877
18 隣支所	31	3,199.0	423.8	1,269,090	194.1	1,370,618	12,153.5	265.2	7,280,075	126.0	7,862,482
	2	13,556.5		2,463,700		2,660,796	32,235.8		9,172,610		9,906,424
19 その他	31	4,651.8	4.6	2,307,040	9.9	2,491,603	12,065.3	11.6	6,175,556	15.9	6,669,601
	2	215.7		228,529		246,807	1,403.6		978,989		1,057,299
20 陸送	31	10,274.5	121.7	31,051,784	70.2	33,535,928	42,790.7	109.4	126,094,020	95.2	136,181,550
	2	12,507.2		21,803,823		23,548,120	46,810.6		120,082,089		129,688,668
合計	31	1,586,971.9	77.6	414,133,919	75.6	447,264,689	5,901,993.8	63.4	1,558,270,677	82.8	1,682,932,569
	2	1,231,698.2		313,217,850		338,275,310	3,740,136.5		1,290,099,363		1,393,307,493
前年との増減		-355,273.7		-100,916,069		-108,989,379	-2,161,857.3		-268,171,314		-289,625,076

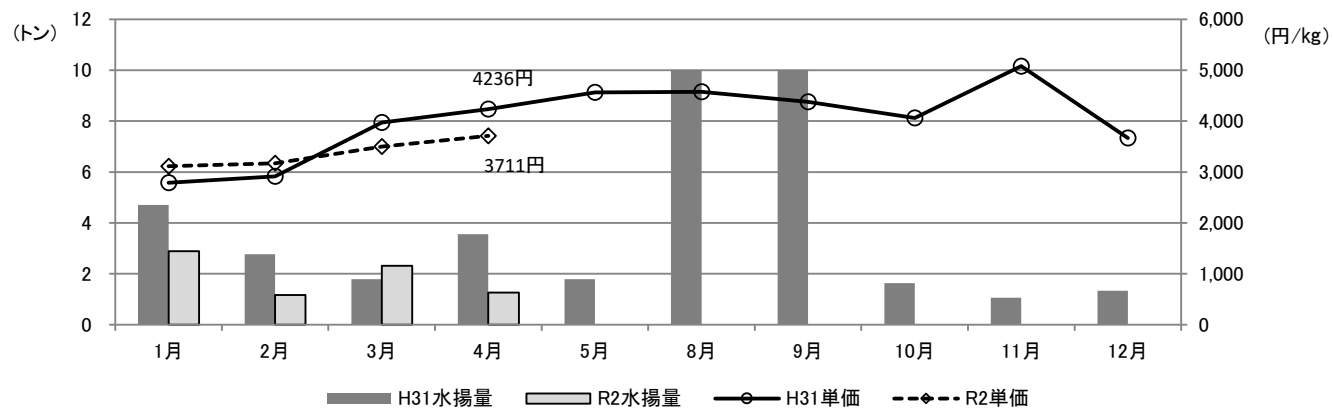
地元沖合底びき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和2年5月25日
産業建設委員会資料No.3
産業経済部水産振興課

カレイ類 水揚量・単価推移

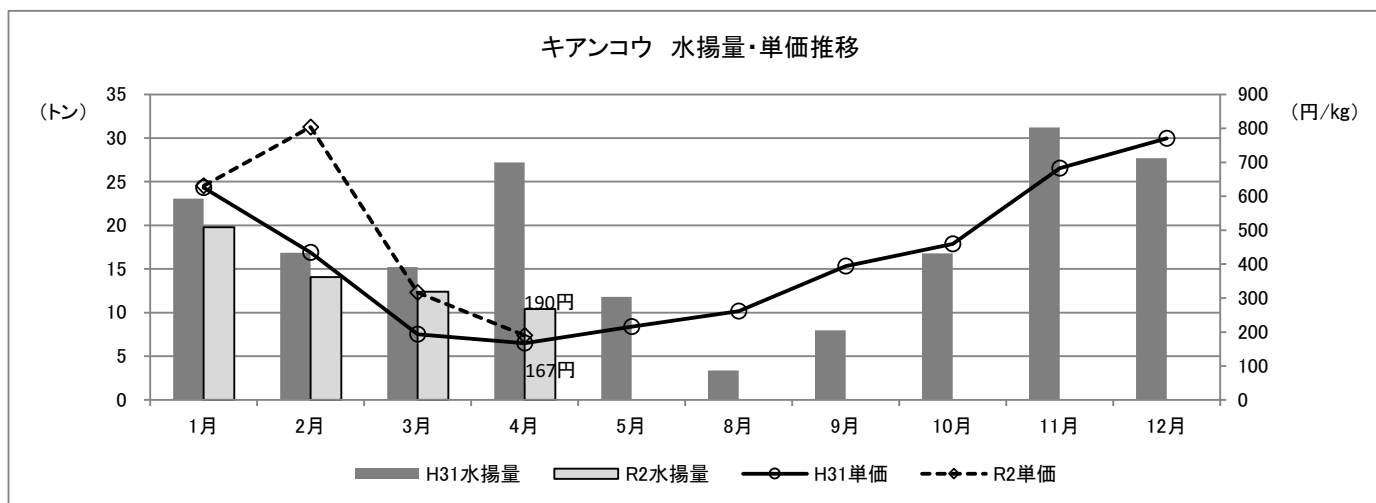
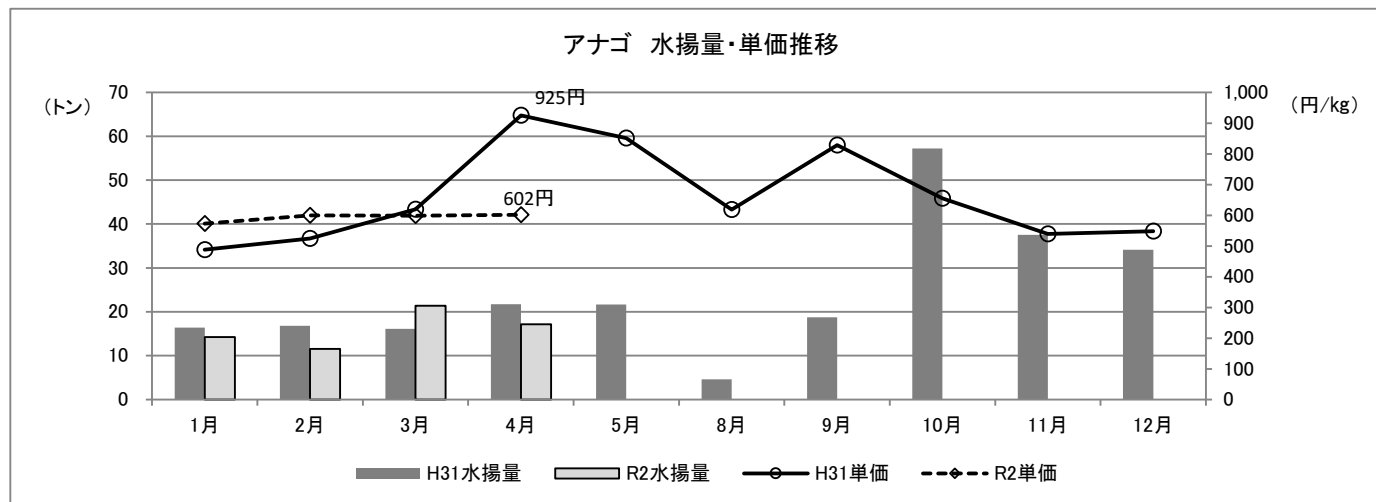


ノドグロ 水揚量・単価推移[メッキン(ノドグロ小)除く]



地元沖合底びき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

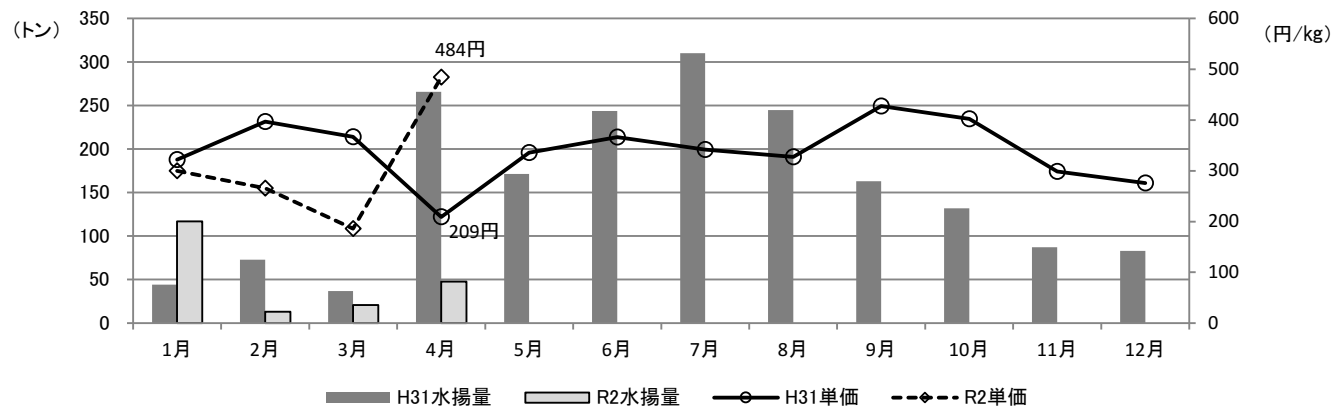
令和2年5月25日
産業建設委員会資料No.4
産業経済部水産振興課



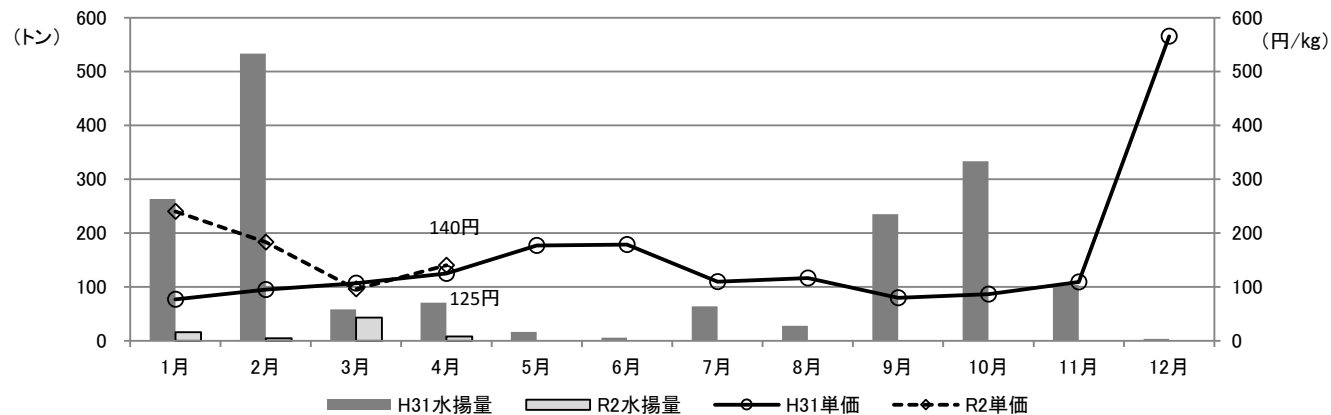
地元中型まき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和2年5月25日
産業建設委員会資料No.5
産業経済部水産振興課

地元中型船 マアジ水揚量・単価推移



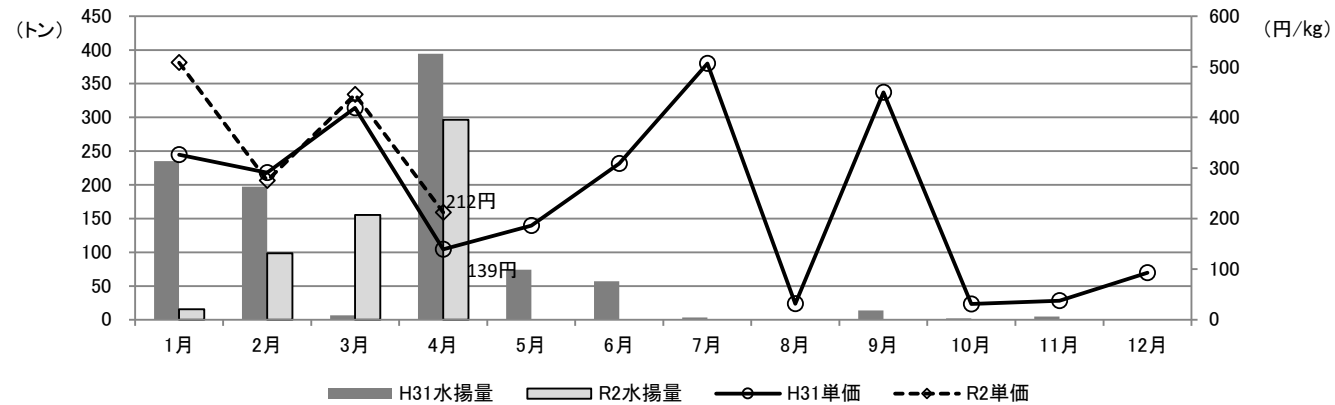
地元中型船 サバ水揚量・単価推移



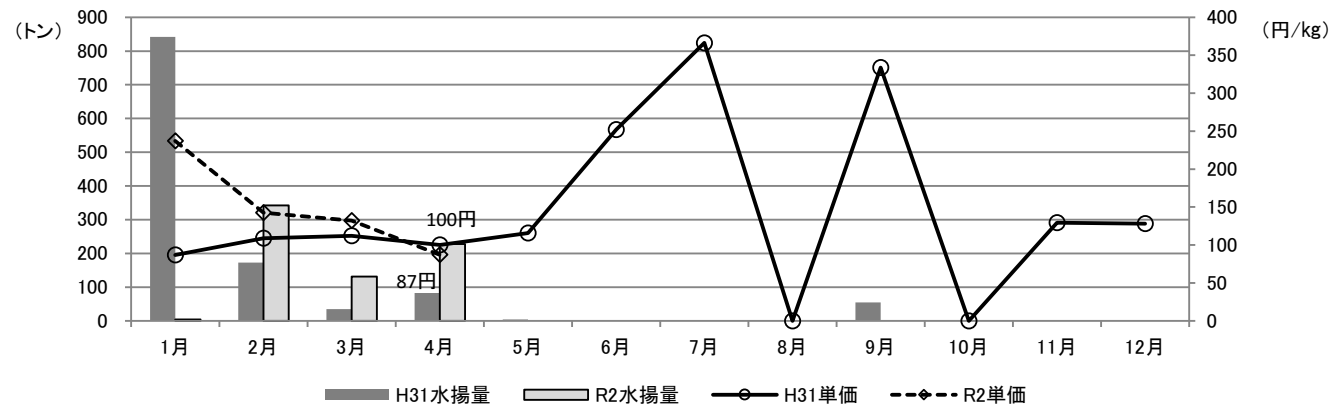
大中型まき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和2年5月25日
産業建設委員会資料No.6
産業経済部水産振興課

大中型船 マアジ水揚量・単価推移

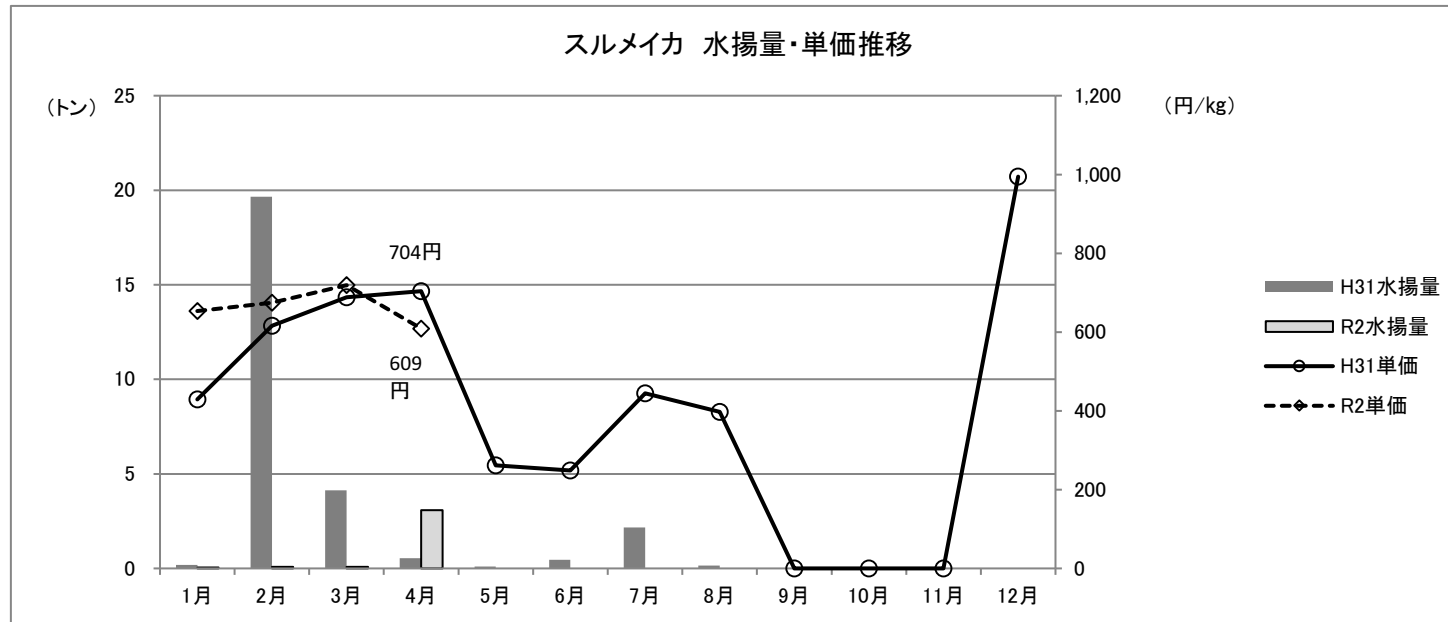


大中型船 サバ水揚量・単価推移



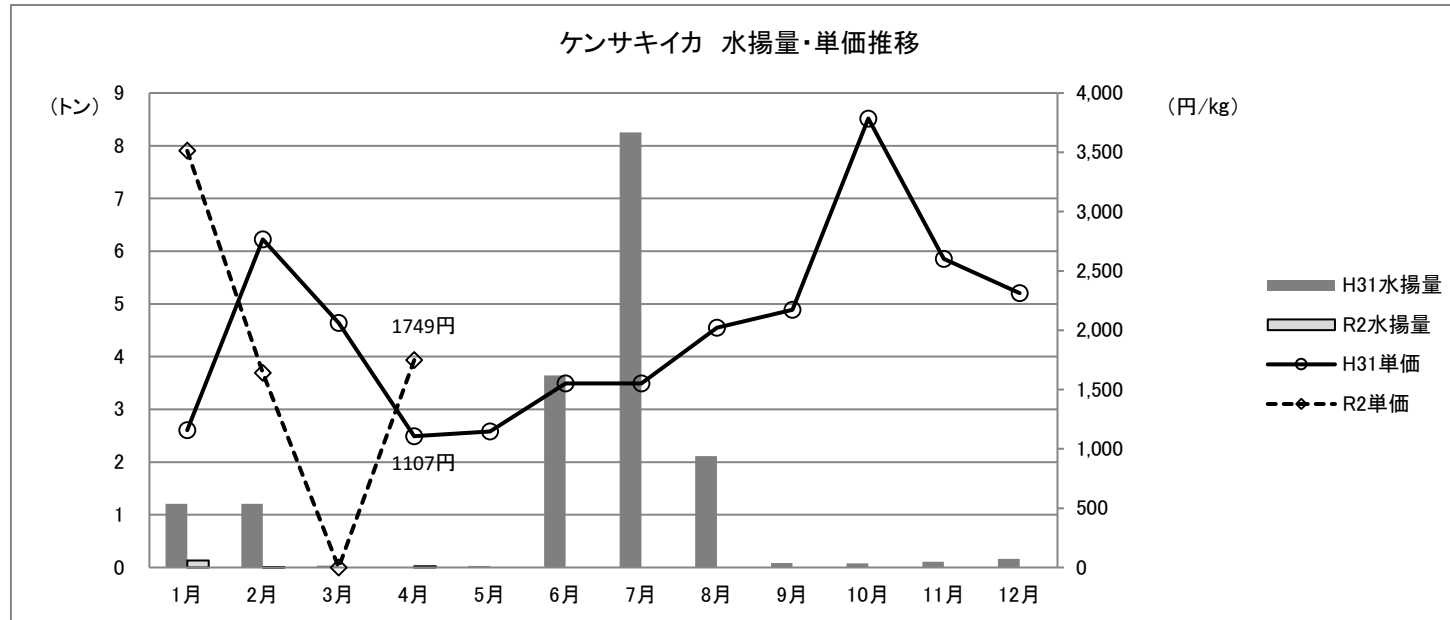
いか釣漁業（5 t 以上・5 t 未満） 主要魚種水揚量・単価の推移

令和2年5月25日
産業建設委員会資料No.7
産業経済部水産振興課



いか釣漁業（5 t 以上・5 t 未満） 主要魚種水揚量・単価の推移

令和 2 年 5 月 25 日
産業建設委員会資料 No.8
産業経済部水産振興課



エンジェルハンドに係る 補助金返還命令及び損害賠償請求について（報告）

1. これまでの経過

- (1) 令和 2 年 2 月 12 日第 6 回公判・・・懲役 3 年の判決
- (2) 判決後、刑事記録資料を基に、補助金交付決定の取り消しによる返還命令及び損害賠償請求について、顧問弁護士と協議していく。

2. 今後の浜田市の対応（旭温泉水有効活用起業支援事業補助金関係）

浜田市が交付した補助金 5,821,000 円については、「合同会社すっぽん」（以下「合同会社」という。）への交付決定の取り消し及び返還命令を行わず、当該補助金額に相当する額を損害賠償として、刑事事件の原因者である 2 名（ 氏及び 受刑者）に対し連帯して支払うことを請求する。

【交付決定の取り消し及び返還命令を行わない理由】

- ① 事業及び補助金に係る一切の権利は、現在、合同会社が承継（令和元年 6 月 19 日全員協議会報告済み）しているものの、不正行為による補助金の受給は事業承継前に発生したものであること。
- ② 合同会社は業務上横領、背任の被害を受けながらも事業を承継しているが、合同会社に対し補助金の返還命令を行えば、承継事業は必然的に中止を余儀なくされ、市が当初の事業目的である温泉水を活用した地域振興を止めることになること。

【損害賠償請求とする理由】

上記理由により、補助金の返還命令は行なわないものの、市が当該事業を進めるにあたり損害を受けた事実は明らかであること。

3. 中小企業イノベーション支援事業補助金に関する対応

エンジェルハンドの「旭温泉水有効活用起業支援事業補助金」の不正受給案件を受け、商工労働課が所管する「浜田市中小企業イノベーション支援事業補助金」についても調査を行いましたので報告します。

(1) 補助金交付状況

申請者：エンジェルハンド 代表 [REDACTED]

①平成 27 年度：新商品開発事業 30 万、販路開拓事業 20 万

②平成 28 年度：新商品開発事業 30 万、販路開拓事業 20 万

(2) 対応状況

補助金の実績報告書に添付されている全部又は一部の領収書について、当該領収書に記載されている発行者において発行されたものではないことが江津警察署の調査により判明したため、令和 2 年 4 月 13 日付けで補助金交付決定を取り消すとともに、申請者である [REDACTED] 氏に対し、全額返還命令を行った。

ふるさと体験村施設の指定管理者公募期間の変更について【報告】

浜田市ふるさと体験村施設の指定管理者公募について、全国的な新型コロナウイルスによる影響を踏まえて下記のとおり公募期間を変更します。

記

1 指定管理者公募期間の変更

(1) 変更の理由

全国的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、国において緊急事態宣言延長が表明され、引き続き、不要不急の外出、県をまたいだ移動の自粛が求められる状況を踏まえ、公募の公平性を最大限担保するため。

(2) 日程

年月		変更前	変更後
令和 2 年	4 月 10 日～5 月 29 日	<u>指定管理者公募期間</u>	
	(4 月 10 日～5 月 21 日)	現地説明会申込期間	
	(4 月 10 日～5 月 21 日)	質問書受付期間	
	4 月 10 日～6 月 15 日		<u>指定管理者公募期間</u>
	(4 月 10 日～6 月 8 日)		現地説明会申込期間
	(4 月 10 日～6 月 8 日)		質問書受付期間
	7 月上旬	指定管理者選定委員会審査	指定管理者選定委員会審査
	7 月中旬～8 月		
	8 月上旬	仮協定締結	仮協定締結
	9 月	指定議決・指定通知	指定議決・指定通知
	9 月末	施設改修【着手】	施設改修【着手】
	10 月上旬		
	10 月下旬		
令和 3 年	12 月下旬		
	3 月	施設改修【完了】	施設改修【完了】
	4 月	<u>指定管理開始</u>	<u>指定管理開始</u>

変更なし

以 上

浜田駅前広場整備事業の進捗状況について

1 進捗状況（概要）

令和 2 年 7 月完成を目指して工事を進めてきましたが、電柱移転や信号機設置に遅れが生じたことから、工期を見直して延長し、完成予定は令和 2 年 12 月とします。

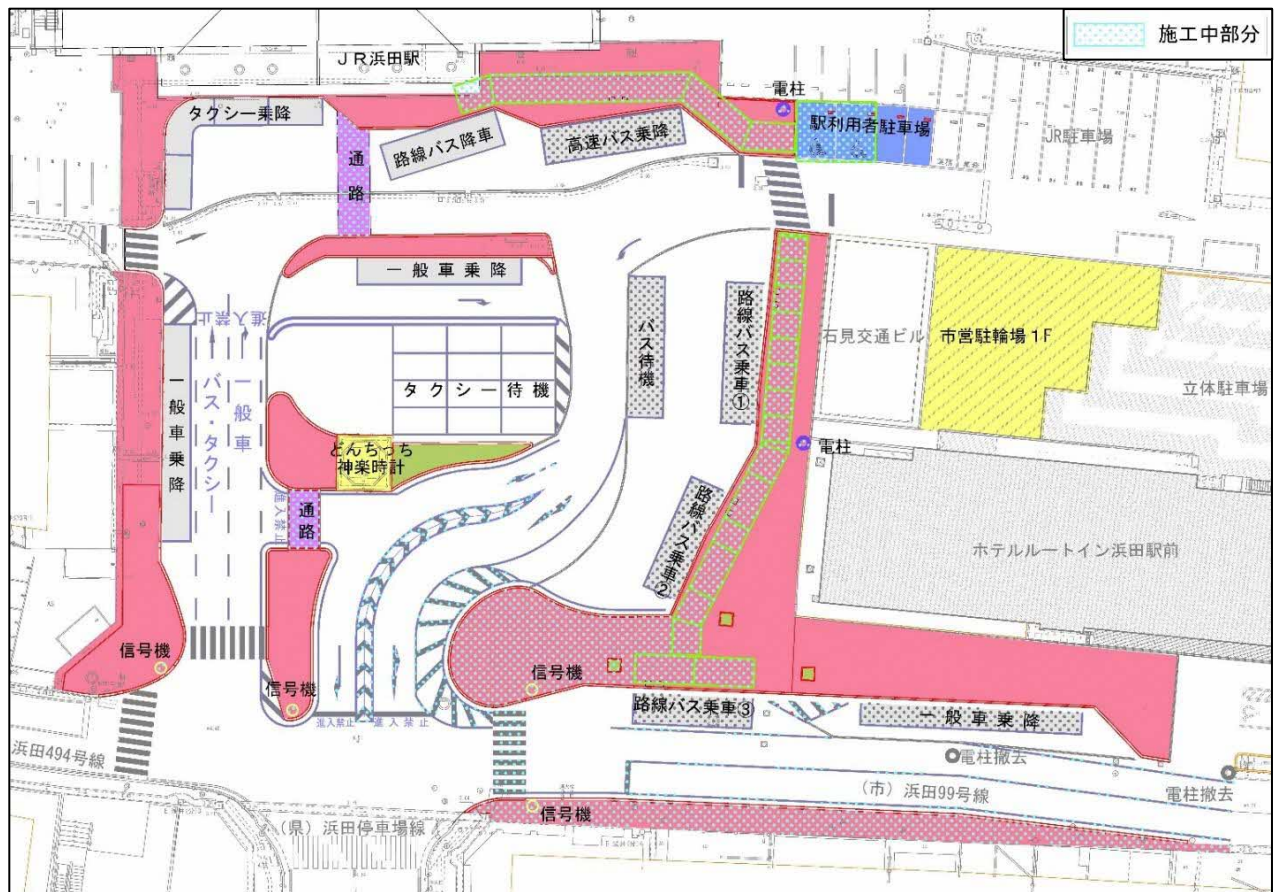
2 工期延長の理由

- ・電柱等の移設に係る隣接者との設置場所の調整に時間がかかり設計が遅れたこと。
- ・新型コロナウイルスの影響で事業者がテレワークになり電柱移転業務が遅れたこと。
- ・信号機の灯器部分は県公安委員会での対応になり 5 月入札になったこと。

3 今後の主な工事予定

工事内容		施工時期	備 考
広場内	・歩道シェルター（駅舎～バス乗り場）	～9 月	
	・駅利用者駐車場（4 台）	～5 月	うち身障者用 2 台
	・ロータリー道路出口の付替え	～12 月	8 月頃に切替予定
	・信号機の設置（支柱は市が設置）	6～8 月	灯器は県公安委員会対応
	・電柱等の移設（中国電力、NTT 等）	～8 月	
	・広場舗装、区画線	11～12 月	
南側市道	・市道舗装	9～10 月	市道浜田 99 号線
	・歩道（岩多屋側付近）の整備	8～10 月	

〔整備図〕



浜田市雇用促進住宅の譲渡に関するアンケート集計結果について

1 配布・回収戸数及び回収率

	戸数	入居戸数	回収戸数	回収率
小福井団地	80戸	61戸	31戸	50.8%
国府団地	80戸	50戸	25戸	50.0%
内田団地	80戸	61戸	26戸	42.6%
金城団地	80戸	52戸	20戸	38.5%
計	320戸	224戸	102戸	45.5%

- ① 雇用促進住宅は国が整備した勤労者向けの住宅でしたが、国の方針により廃止され、地元自治体へ売却されることとなったことを知っていますか。

	小福井団地	国府団地	内田団地	金城団地	計	構成比
知っている	14戸	10戸	14戸	11戸	49戸	48.0%
知らない	17戸	15戸	12戸	9戸	53戸	52.0%
計	31戸	25戸	26戸	20戸	102戸	100.0%

- ② 浜田市は、平成22年度に入居者の救済を目的とした緊急避難措置として、10年間管理すること、10年間の管理後は廃止・解体することを前提に住宅を購入しましたが、このことを知っていますか。

	小福井団地	国府団地	内田団地	金城団地	計	構成比
知っている	7戸	4戸	9戸	8戸	28戸	27.5%
知らない	24戸	21戸	17戸	12戸	74戸	72.5%
計	31戸	25戸	26戸	20戸	102戸	100.0%

- ③ 民間譲渡を目指すにあたり、市は下記の譲渡条件を提示しての公募を考えています。

【市の考え】

- 現入居者の負担が増えないよう、現在の家賃等を10年間据え置きとする。
- 譲渡者に管理運営について責任を持たせるため、10年間は転売禁止とする。
- 譲渡者の選定にあたっては、購入金額だけでなく、管理運営能力を重視する。

これを踏まえ、民間譲渡することについてご自身の意見を一つ選んでください。

	小福井団地	国府団地	内田団地	金城団地	計	構成比
賛成	4戸	0戸	2戸	3戸	9戸	8.8%
やむを得ない	16戸	23戸	19戸	15戸	73戸	71.6%
反対	8戸	1戸	4戸	1戸	14戸	13.7%
その他	3戸	1戸	1戸	1戸	6戸	5.9%
計	31戸	25戸	26戸	20戸	102戸	100.0%

- ④ ③で【その他】で選んだ理由、市の考えに対する意見をお書きください。

(記入件数108件から抜粋)

- ・ 10年で廃止・解体することを前もって知らせたかった。10年以上住んでいる人間が知らないと言う事は告知が足らなかったと思う。
- ・ 入居時に、令和2年度末で民間譲渡を目指す方針で家賃や管理運営について変更があるかもしれないとの説明がほしかった。
- ・ 民間譲渡によって入居条件が大きく変わらないことを希望する。
- ・ 家賃は据え置きとしてほしい。
- ・ 家賃については現状維持が最低条件だが、建物の老朽化に伴いさまざまな破損等が生じているので減額も検討してほしい。
- ・ 家賃は今と変わらない事は条件としてほしいが、存続させてもらえるなら少しは上がってもやむを得ない。
- ・ 家賃が今までより変わったり入居条件が変わるようだったら、原状回復なしで退去もできるようにしてほしい。

- ・ これからも市が管理して、現状のまま運営してほしい。
- ・ 譲渡先が決まらない場合、廃止・解体となってしまうのか。
- ・ 民間に譲渡するのはやむを得ないと思う。
- ・ 入居者の負担を急に増やすような購入者であれば公募から除外してほしい。
- ・ 購入者は全国から募集するのか。不動産のノウハウがあるものがない。
- ・ 今までどおり浜田市が保有し、民間が管理するのが良いと思う。
- ・ 解体となってしまうのであれば、市営住宅などを斡旋してほしい。
- ・ もし退居しなければならないのであれば、次の住居の相談にのってほしい。
- ・ もしも立ち退きを要求されるならば、令和2年度末では急なので早めに言ってもらいたい。

⑤ その他、自由に意見をお書きください。（記入件数38件から抜粋）

- ・ 引っ越す事、廃止、解体を前提に家賃を無しとすれば引っ越しの助けにもなると思う
- ・ 譲渡するくらいなら廃止・解体を先延ばしして引っ越しをする準備期間があればいいと思う。
解体するならば修復費用は掛からないし敷金が全額戻るので引っ越し費用になると思う。
- ・ 家賃の10年間据え置き後はどうなるのか。
- ・ 民間譲渡後、自治会機能はどうなるのか。
- ・ 今後、譲渡先が事業廃止等の理由で運営をやめた場合、再度入居者救済等はあるのか。
- ・ 令和2年度末までに譲渡者が決まらない場合はどうなるのか。
- ・ 解体することになったら優先に住む住宅を提供してほしい。

2 現時点でのご質問に対する回答

① 家賃について

⇒ 現入居者の負担が増えないよう、現在の家賃等を10年間据え置きとすることを譲渡条件とするよう考えています。

譲渡後10年経過した後は、民間業者が決定することとなります。

② 雇用促進住宅の解体・退去について

⇒ あくまで「売却」するだけであり、現在入居しておられる皆さんは引続き入居することができます。

現時点で浜田市が建物の解体を行うことは考えていません。

③ 令和2年度末までに譲渡先が決まらない場合はどうなるのか。

⇒ 決まらない場合、ただちに廃止・解体ということではなく、当分の間、指定管理者制度による管理を行いながら改めて民間譲渡を図るよう考えています。

なお、令和2年度末に譲渡するというスケジュールは、現時点での案であり、外部有識者等の意見を伺いながら慎重に進めていきたいと考えています。

④ 民間譲渡後、自治会機能はどうなるのか。

⇒ 民間譲渡後の自治会のあり方については、入居者の皆さんの意見により決められるものと考えています。

⑤ 譲渡先が事業廃止等の理由で運営をやめた場合はどうなるのか。

⇒ 将来の倒産や事業廃止等を現時点で予測することは困難ですが、「既存入居者の賃借条件は譲渡から10年間据え置くこと及び10年間の転売禁止」を譲渡条件とする予定であり、この条件を守ることができる民間業者を譲渡先として選定することが一番大事であると考えています。

皆さんがお住まいの雇用促進住宅は、令和2年度末をもって、「廃止・解体」ではなく【民間譲渡】を目指しているものです。

民間譲渡にあたっては、入居者の皆さんにそのまま居住していただけるよう、また、現在の家賃等が変わらないような条件を付けることを考えています。

なお、令和2年度末の民間譲渡については、現時点での計画案であり、見直しを行うこともありますのでご理解くださいますようお願いいたします。

地域おこし協力隊員について（報告）

1 隊員の氏名

〈後継者マッチング支援〉

さいとう しんすけ
齋藤 慎介 氏（38 歳、西東京市より転居）

委嘱期間 令和 2 年 5 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

〈料理人育成支援〉

きむら のぶゆき
木村 宜享 氏（40 歳、廿日市市より転居）

委嘱期間 令和 2 年 4 月 13 日～令和 3 年 3 月 31 日

※委嘱期間は、1 年を超えない範囲で委嘱期間を延長することが可能。

ただし 3 年を限度とする。

2 事業内容

〈後継者マッチング支援〉

地域おこし協力隊員と後継者不在の事業所とのマッチングを支援し、事業承継の推進を図る。

〈料理人育成支援〉

地域おこし協力隊員を旅館、飲食店で不足している料理人に育成する。

3 活動状況

〈後継者マッチング支援〉

浜田市の概要や事業承継に向けた基礎知識の習得、事業承継を支援する商工団体、金融機関等への挨拶周り・ヒアリングの実施。

〈料理人育成支援〉

現在、金城観光ホテルで研修中。